

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市金剛沢児童館
2 指定管理者	特定非営利活動法人ワーカーズコープ
3 指定期間	平成29年4月1日から令和4年3月31日まで
4 施設の利用状況	《利用者数》14,025人（前年度比 64.6%） 令和元年度 21,694人 平成30年度 19,461人 平成29年度 19,455人
	《事業》 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業
5 収支の状況	《費用》 （ ）は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 43,183千円（40,852千円） ・ その他市が負担した費用 0千円（0千円）
	《収入》 ・ 使用料収入 0千円（0千円） ・ その他収入 0千円（0千円）
6 利用者の声	《実施状況》 利用者アンケート、地域懇談会、児童クラブ保護者会を実施。

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	23/23
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、子ども達が安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境の整備と安全面の配慮が行われており、家庭や学校と情報共有を図り連携した育成支援に努めている。また、昨年度より、コロナ禍のために縮小している乳幼児向けの交流の場を工夫するなど、子育て家庭を支援するとともに、子育て支援クラブをはじめとする地域組織・団体・住民・関係機関との連携、相互交流を図りながら児童館の運営に取り組んでいる。	18/18

三 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人ワーカーズコープ）による自己評価》
<p>制限のある中、屋外での活動も多く、地域の深いご理解とご協力をいただきました。また、地域の新たな団体との繋がりは、私たちと同じ思いで地域の子育てを支える大きな宝物となりました。</p> <p>○児童健全育成事業 西多賀まちづくり推進委員会、親児の会とイベントを共に、三神峯公園のナイトハイクや仙台城の登城路を登るイベントは、親子で楽しい時間の共有となり、身近な自然や社会体験と触れ合うきっかけ作りとなりました。</p> <p>○子育て家庭支援事業 10月に児童館駐車場で実施した子育て支援クラブきらりっこ主催「きらきらおそとでコンサート」は青空の下、乳幼児親子と地域の方の笑顔溢れる時間でした。新たに企画した身近な材料での工作「はればれぐみ」は、完成品でお家での親子時間を楽しむきっかけ作りにと実施しました。そして、コロナ禍で不安を持つ保護者が増え、生き辛さを抱えたお子さんを持つ親の会「つぼみ会」の開催が必須と考え、近隣集会所で実施しましたが、新入学を控えての相談も複数あり、このような時こそこの会の必要性を強く感じました。</p> <p>○地域交流推進事業 西多賀まちづくり推進委員会との活動は三神峯公園のナイトハイク、仙台城の登城路のイベントなど、親子で地域を再発見し楽しみ、遊びの中から学ぶことができ、今後の展開も楽しみです。</p> <p>○放課後児童健全育成事業 西多賀まちづくり推進委員会との活動で三神峯公園の桜の樹名板の作成は子どもたちの大きな思い出作りとなりました。また、登米での「田んぼの楽校」には希望のご家族に参加していただき自然体験を満喫しました。日常的には近隣公園での外遊び、野菜を育てる活動、そして、学校のプール開放も中止のため、駐車場で水遊びも複数回実施し屋外での活動を多用しました。室内では年間を通じて「鬼滅の刃」の大ブームに助けられ、折り紙でのキャラクター作りや刀作りで没頭する子どもたちの姿を見る事ができました。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>令和2年度は、コロナ感染症の影響で緊急事態宣言が4月に発令され、小学校が5月まで休校となったが、休校中も児童クラブの受け入れを行った。この間、乳幼児親子の自由来館及び小学生の自由来館を休止していたが、その後、乳幼児親子の自由来館は6月から平日午前のみ再開し、小学生の自由来館は10月から土曜日のみ再開した。感染症対策のための参加人数の制限や環境の工夫を行うなど様々な配慮と努力を要した児童館運営となった。</p> <p>子育て家庭支援事業においては、登録制の幼児クラブや工作活動が中心の「はればれぐみ」、子育て支援クラブ共催の企画行事など親子遊びやおもちゃ作り、野外コンサートなど多彩なプログラムを提供し乳幼児親子の交流の場として子育て支援の拠点としての役割を担っている。さらに、子どもの発達の悩みを交流しあう「つぼみ会」もコロナ禍だからこそ定期的に開催して親同士の交流や育児相談をおこなうなど地域の中で子育てに不安を抱えている保護者にとって身近な相談場所としての役割を果たしている。</p> <p>放課後児童健全育成事業においては、子どもが主体的に遊びや生活を進めていけるように、お米の収穫体験の「田んぼの楽校」や野菜を育てる「ベジベジパラダイス」、季節の行事やゲーム大会など、遊びの充実のために様々な活動を開催している。対面あそびが難しい中、個人の遊びから集団の遊びを取り組めるように工夫するなど子どもとともにルールを確認しながらできることを増やし、子どもの自主性や社会性を育む支援を行っている。さらに、地域との交流では、「天沼公園の浄化活動」や「三神峯公園清掃と桜の樹名板工作」など、地域の方との交流を深め、地域の関係機関と積極的に連携しながら子どもが地域と密接に関わりを持ちながら育つ環境作りに努めている。</p>	S

四 その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進課